

第3回富山県国土強靱化地域計画検討委員会 主な意見（概要）

○ 再掲箇所について

図7「重ねるハザードマップ（地形分類）」と図8「富山県内の液状化しやすさマップ」について、県内各地に同様の液状化しやすい地域があるため、図に「一例」の追記が必要

○ パブリックコメントの意見「県特有の事態の明記」を計画に反映しないことについて

パブリックコメントにおける意見「起きてはならない最悪の事態の各項目について、全国共通・富山県特有の別を分かるようにした方がよい」との意見があったが、全国共通・富山県特有の事態を区分したとしても、県として取組む強靱化の施策に変わりはないため、あえて区分する必要はない。

○ デジタル化の推進について

デジタル化の推進は、南海トラフ地震時に県が他県を応援する際や県が被災した際の受援の際に、他県と共同できるよう、全国の動向を見極めながら標準化していくべき。

○ 図表の解像度について

図4「河川縦断図」及び7頁の図5「白岩川の氾濫」について、画質が悪いため鮮明な図に差し換えた方がよい。

○ 上下水道施設の老朽化対策について

施策150「下水道施設の老朽化対策」について、埼玉県八潮市の事故を踏まえた異常箇所の調査は市町村レベルでも必要

また、実施に当たって、いかに具体化するかが重要であり、上下水道施設のリプレイスなども含めて検討が必要

○ 避難所の生活環境改善について

災害関連死をできるだけ防ぐため、スフィア基準に基づく環境改善が必要

また、避難所となる体育館の冷暖房施設の設置の促進や、女性や子どもたちにも安全な環境の避難所が必要